

2026年度 京都芸術大学 一般選抜

国語・英語（90分 各100点 合計200点）

< 1月29日(木) 実施 >

<注意事項>

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。また、解答用紙にも手を触れないこと。
2. 試験時間は11:30~13:00(90分)です。また、試験終了までは退室できません。
3. 使用可能用具は筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り)のみです。筆記用具以外の筆箱・ペンケースなど私物はすべてかばんの中にしまってください。
携帯電話を時計代わりに使用することは認められません。
4. 問題冊子は17ページです(表紙を除く)。解答用紙はマークシート用紙2枚です。国語と英語で解答用紙が別になります。間違わないように解答してください。試験開始後、問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明な箇所、ページの落丁・乱丁、汚れなどに気づいたら手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、まず解答用紙の所定欄に受験番号、氏名・フリガナを記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙に記入すること。解答はすべて鉛筆またはシャープペンシルで記入すること(それ以外の筆記用具の場合、解答が無効になります)。また、解答は全て選択式となっているので、解答を一つだけ選び、解答用紙の記入例を参考に正しく記入すること(誤った方法で記入をしたり、二つ以上マークした場合、解答が無効になります)。
7. 質問がある場合は、大きく手を挙げて監督者に知らせること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってもかまいません。解答用紙を提出せずに持ち帰った場合、試験放棄とみなされます。

1、次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

食客とは何か。それは友と敵、身内と他人といった、わかりやすい二分法にはうまく収まらない何かである。食客はいつもわたしたちのまわりにいるが、その姿はいつも見えていとはかぎらない。そうした

A

——それが、われわれがここで食客とよぶところのものである。

なぜ食客は「目に見えない」のか。それは、かれらがわれわれの認識の網目に、うまく引つかかることのない存在だからである。食客はたしかにそこにいる——ただし不審な存在者として。そうした友と敵、内と外の論理から外れたところにある「何か」を、われわれはさしあたり食客とよんでいる。

従来、この食客はたんなる「類型的人物」としての身分を与えられるにとどまってきたように思われる。それは古代ギリシアの中喜劇^{*1}（紀元前四世紀）において、すでに常連の地位を獲得していた。さらにその後も食客は、西洋の文学作品のなかにたびたびその姿をあらわすことになるだろう。とはいえ、そこでの食客は、いわば物語のなかで「飼いならされた」定番のキャラクターにすぎない。いつのまにか他人の食卓に入り込み、そこで飲食にあずかる存在としての食客は、ほとんどの場合、その本来のポテンシャルを剥奪されている。

というのも、事態はもうすこし複雑であるからだ。食客をお決まりの喜劇的なキャラクターへと封じ込めようとするのは、こう言ってよければひとつの——フリーエ言うところの「文明世界」の——防衛機制にほかならない。しかし、これに抗するわれわれとしては、食客をお決まりの役柄に封じ込めて安心するのではなく、あえてその根源に立ち返ってみたい。そうすることではじめて、われわれはほんとうの意味で食客と出会うことになる。

あらためて問おう。食客とは何か。われわれはまずもってそれを「言葉」との関係において考えなければならぬ。食客は、ただ漠然と他人に寄生するだけの「ぬるい」^B存在ではない。かつてミシエル・セールは、それを「世界最古の職業」であると言った。^{*3}

食客は招待主の食卓に招かれる。食客はその返礼に、自分の語りと笑いで会食者を楽しませねばならない。食客は、きわめて正確なしかたで、美味なる料理と甘美な言葉を交換する。言語の貨幣で食費を払い、それを購う。それは世界最古の職業である。

食客とはひとつの職業^{メチエ}である。つまり食客はなにも、主人の善意にあずかるだけの、お気楽な存在なのではない。食客は、食事や寝床の提供を受けるかわりに、宿主に対してその正当な対価を支払っている。その対価とは何か。それは言うまでもなく「言葉」である。食客とは、ほかならぬおのれの言葉と引き換えに、飲食にあずかるものたちのことである。

それゆえ食客とともに、言葉は貨幣のごとく取り引きされるものとしての——本来の？——性格をあらわにするだろう。それはふだん、われわれがあえて忘却していることのひとつではないだろうか。というのも、われわれの日常的なやりとりにおいて、言葉はたんなるコミュニ

ケーシヨンの道具として、あるいは純粹な贈与交換として、もっぱらエコノミーの外におかれていたからだ。だからこそ、セールが言うような「職業」としての食客は、C

という事実を、このうえなくはつきりと明るみに出すだろう。

ところで、古代ギリシアのポリスには、そうした食客に類するものたちがいた。それはソフィストとよばれる人々である。

そもそも「ソフィスト」とはいかなる人物のことか。今日でもなお、この疑問に答えるには、何をおいてもプラトンに立ち戻らねばならない。かのソクラテスを主人公とする『国家』や『ゴルギアス』といったプラトンの対話篇こそ、後世におけるソフィストをめぐる認識を決定づけたものだからである。しかし現実のソフィストとは、じつさいのところいかなる人々であったのか。若者に教えを説くもの（教育者）、さまざまに通じたもの（知識人）、語りの技術を演じ伝えるもの（雄弁家）など、ソフィストをソフィストたらしめる要素にはさまざまなものがあり、それを一口に言いあらわすのはむずかしい。「ソフィスト（ソピステース）」とは文字通りには「知者」という意味だが、それが——すくなくともプラトン以来——もっぱら否定的な呼称であったことに鑑みるなら、さしあたりそこに「識者」という含みのあるニュアンスを与えてみてもいいかもしれない。

そのうえで言うと、ソフィストとは、食客よろしくおのれの言葉を金銭に替えるものたちであった——そのように見ることが可能である。プラトンも、そして同じくアリストテレスも、ソフィストが（見せかけの）知恵によって金銭を得るものであるという説明をいちどならず行なっている。ソフィストは法廷や広場で巧みに言葉を操る雄弁家であり、同時に人々にその方法を伝授する教育者でもあったわけだが、いずれにせよかれらはおのれの「言葉」を「金銭」に替えることで、みずからの軀からだを養っていたのである。

このソフィストが、古代ギリシアにおける哲学の誕生に深く関わっていたことはよく知られている。プラトンの複数の対話篇において、哲学者ソクラテスのユウシXは、しばしばソフィストとの対決を通じて示される。なぜなら、言語ロゴスによって真理に到達する営みとしての哲学が第一に必要としたのは、世にはびこるソフィストの詭弁きべんからおのれを隔てることであつたからだ。むろん、「哲学（ピロソ피아）」という言葉そのものの誕生は、そこからさらに遡るイオニアおよびイタリアの自然哲学——とりわけピュタゴラス——に帰せられるべきものである。だが、ソクラテス⇨プラトンによる「哲学」なる営みの上演は、言葉をD なしかたで用いるソフィストを仮想敵とすることで、はじめて可能になったと言っても過言ではない。というのも、そうした「敵」を欠いたとき、言葉によって真理へ到達することを説く哲学者の姿は、たんなる詐欺師のそれといくぶん見分けのつかぬものとなるだろうからだ。というより、げんにソクラテスがそうした行ないによって死に処せられたからこそ、プラトンはその名誉回復のために、ソクラテスがたんなるソフィストでは「ない」ことを、何としてでも証明しなければならなかった。

しかしながら、哲学者とソフィスト、哲学と詭弁をめぐるこれらの対立は、まさにわれわれがそこから逃れようとする対立そのものである。ソクラテス⇨プラトンはソフィストのエイY

をたんなる知的パフォーマンスとしてしりぞけるが、繰り返すように、それはむしろ哲学にとつて必要な「影」であつたと考えなければならぬ。おのれの知を商売道具とする小狡いソフィストと、そうした知の売買とは無縁な、善良で哀れなソクラテス——そのような図式はたしかに見やすい。しかし、すこし疑ってみれば明らかであるように、それはそれであまりにも出来すぎた物語ではないか。

かりにソフィストが哲学者の影であるとしよう。しかし、そこから導き出される当然の推論として、そのソフィストにもまたべつの影が取り憑いているのではないだろうか。もはや明言するまでもないだろうが、ここではほかならぬ食客を、この二重の影として考えてみたいのである。豊富な知識を持ち、言葉を思いのままに操る賢人でありながら、教育者でも雄弁家でもなく、ただ主人の傍らで (para)、食事 (sitos) をくすねるだけの人間——そのような由来をもつ食客こそ、哲学者とソフィストの対立を横から突き崩す、第三の人物にほかならない。

(星野太『食客論』より。一部省略した箇所がある。)

注

- * 1 中喜劇…前四〇〇〜三〇〇年頃のギリシア喜劇。
- * 2 フーリエ…シャルル・フーリエ François Marie Charles Fourier (1772-1837)。フランスの哲学者、倫理学者、社会思想家。
- * 3 ミシエル・セール…Michel Serres (1930-2019)。フランスの科学史家、科学哲学者。
- * 4 エコノミー…economy。経済、財政。語源に、古代ギリシア語のオイコノミア—oikonomia「家政学・家計」がある。

(1) 次の①〜④のカタカナを漢字で書き表したとき、傍線部X「ユウシ」の「シ」と同じ漢字が用いられているものを選びなさい。

- ① 講義のヨウシをまとめて試験に備える。
- ② ユウシ以来、その火山の噴火は何度も記録されてきた。
- ③ ヨウシ端麗はあまり使われなくなったほめ言葉である。
- ④ 書類を整えて銀行へユウシを申し込んだ。

(2) 次の①～④のカタカナを漢字で書き表したとき、傍線部Y「エイイ」の「イ」と同じ漢字が用いられているものを選びなさい。

- ① 事態のスイイを注意深く見守る。
- ② 時間がないので空港でカンイな食事を摂った。
- ③ その世界ではケンイと認められている人。
- ④ この花はジンイ的に作り出された品種です。

(3) 空欄 A に入る語句として最も適切なものを選びなさい。

- ① 不可視の道づれ
- ② 不可知の対象
- ③ 不可解な友だち
- ④ 不可欠な血縁

(4) 傍線部B「ぬるい」存在」と内容的に同等な表現として適切なでないものを一つ選びなさい。

- ① 「飼いならされた」定番のキャラクター
- ② 不審な存在者
- ③ お決まりの喜劇的なキャラクター
- ④ お気楽な存在

(5) 空欄 C に入るものとして最も適切なものを選びなさい。

- ① 飲食とはもともと言葉と交換されるべきもの
- ② 言葉の本来の性格はコミュニケーションにある
- ③ 言葉と貨幣とは両方とも純粋な贈与交換である
- ④ 言葉がある状況のもとで貨幣の役目を果たす

(6) 空欄 D に入る語句として最も適切なものを選びなさい。

- ① 功利的
- ② 合理的
- ③ 教育的
- ④ 対話的

(7) 傍線部E「哲学にとって必要な『影』であった」とはどういうことか。説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① ソフィストたちの詭弁はもともと古代ギリシアの哲学に普遍的なものであったが、ソクラテス⇨プラトンはそれを悪とみなしたこと。
- ② 哲学はその成立にあたって常に何かの犠牲を必要とし、ソクラテスの死刑もその一環として理解されること。
- ③ ソクラテス⇨プラトンにはじまる古代ギリシアの哲学は、その成立のためにソフィストを敵として想定する必要があったこと。
- ④ 言葉を金銭に替えるというソフィストたちの技術は、古代ギリシアの哲学の伝統の中に脈々として生き続けていること。

(8) 本文の内容に合致しないものを一つ選びなさい。

- ① 長い歴史の中で、食客はなんとなく家に居ついて食事を共にするあいまいな存在として認識されてきた。
- ② われわれはふだんの生活の中で、言語がコミュニケーションの道具であると同時に経済的役割を果たしていることを痛感している。
- ③ ほんとうの意味での食客は、言葉を使って会食者を楽しませる技術をもった専門家とすべきものであった。
- ④ 口先のみの雄弁を弄するソフィストに真の哲学の創始者であるソクラテスを対置する考え方には疑わしい側面がある。

2、次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

朝はまだ冷えるとはいえ日があたれば暖かくなり、オオイヌノフグリやヒメオドリコソウが咲き出す三月半ば、コリアンダーの種をまいたところへ水をやっていたら、草の上にチョウがとまった。ずいぶん早いと思っただけれど、あとから調べるとキタテハという種で、成虫になってから冬越しするので、気温があがるとすぐに出てくる。食草のカナムグラが、家の裏にたくさん生えているから、そのあたりに潜んでいたのだろう。

花が咲き出せば、かならず虫もやってくる。虫が増えると、虫を食べに小鳥が来る。庭にはウメの大木があつて、ケムシがつくし、ユズにはアゲハチョウが卵を産みつけるから、昆虫を大量に食べるシジユウカラのような鳥にとつて、ここは餌を見つけやすいに違いない。アゲハは、夏になるとクサギやヤブガラシの花を好んで吸うが、これらも裏に群生している。

A、とまでは言わない。室内で出会えば、飛びすさったり、思わず声が出たり、外へ出そうとして手が震えたりすることもある。そのような反応をもつて「生理的」ないし「本能的」と呼び、断固たる拒否の根拠とするのが、こと虫に関しては通例なわけだけれど、わたし自身は実のところ、生まれながらに虫のたぐいが苦手だったわけではない。

*¹ 越谷に住んでいた幼稚園児のころは、チョウを捕まえて指を鱗粉で汚したりしていたし、狭い庭で、石塀の地際にくっついていてジグモの巣の端をはがして、くもさん、くもさん、出てきなんせ、と唱えながら、細長い巣が途中で切れないようゆっくり引つ張り出すという遊びも、母親に教わって、やっていた。それに、市民農園も借りていたから、畑でさまざまな虫に出会っていたはずだ。「a」であるかのように虫の出現に対し反射的に体が動くのは、いつの間にか習い覚えたしぐさにすぎない。生理的ではなく、b なものだ。

生理や本能と思われているものは、しばしば c なるものである、あるいは少なくとも文化的な要素に左右される。とりわけジェンダー論を通じて、こうした考えは一般論としてそれなりに共有されるようになってきている、とは思うのだが、とはいえ、個別の現象については、指摘されてはじめて気づくことも多い。

たとえば以前、フランスとイタリアに長く暮らした文学研究の友人Mに、日本の女性は総じて声が高い、これは d なるものだと思う、と言われて、すぐには納得できなかった。声の高さは体の問題ではないかと、とっさに思った。でも、意識してみると、自分の出せる声のレンジのなかで、どの辺を発話に使うかは、ある程度調節できて、思い返せばわたし自身、女同士で「はしゃぐ」感じで話すときや、電話で未知の相手に形式的な台詞で応答するときには、かなり高めに発声を設定している。また、フランス留学中、韓国人の友人Jと一緒にいるときは、お互い低めの地声で話していて、それがとても楽だった、ということも思い出した。日本社会において女性がどのようなものと規定されてきたかに、声の高さは関わっているのだろう。

どんなときに涙を流すか。どんなときに吐き気を催し、あるいは実際に吐くか。鳥肌が立つ、叫ぶ、尿意を催す。身体のレベルで生じることは、身体レベルだからといって、あらゆる人間において同じように生じるとはかぎらない。人間の「本能」は、自分を取り巻く社会

との関係において、調えられていく。

あれはなんの雑誌だったか、特に著名人というわけではない数人が、かつて自分の住んでいた家について、間取りを示しつつ語るといふ記事があり、そのなかで、養蚕家^X出身のひとが、蚕に影響が出るので蚊取り線香はゲンキン^Yでした、と述べていた。言われてみれば当たり前ののだが、目の覚める思いがした。^{*2}秩父をふくむ養蚕地域では、お蚕さまが、つまりは虫が、もつとも大事にすべき稼ぎ頭であつて、蚊を殺そうとすれば、彼らも弱ってしまうのだ。

虫を見れば震えあがり、ほとんどのものは無害なばかりか、なかには土を豊かにしたり植物の受粉を助けたりするものもいるのに、大騒ぎをして殺すまでは気が済まない、という「本能」がつくられたのは、そこまで遠い昔の話ではない。内山昭一『昆虫食入門』に、明治以降、つまり蚕の活躍とまさに同時期、「害虫駆除」の実践が国家主導で推進され、さらに戦後の「衛生」観念が、虫嫌いの一般化に Z 経緯が簡潔に示されている。その後の半世紀で、日常的に接する虫の種類と数がきわめて少ない都市の住環境が広がるにつれ、虫に対する「生理的嫌悪」は、極端化している気がする。

秩父に住んでいる、と話すと、わたしは虫が駄目だから無理、と即座に遮断されることが、思った以上に多い。絶滅してほしい、といった攻撃性を見せるひともいれば、自然が好きなのに残念、とまるで宿命であるかのように悄然^{しよせん}とするひともいる。アレルギー反応のような器質的な障害がある場合も、もちろんあるのだが、大抵は、体質の問題ではなく、しかしそうであるかのようにふるまうのが共通了解となっている、というより、本人にとつては実際^Cそのように認識されているため、こちらからなにかを言うことは難しい（言え、嫌がらせになりかねない）。それにしても、土のある場所に暮らすことには、よい点にせよ悪い点にせよ、無数の要素がふくまれるはずなのに、「虫」の一点をもつてすべてが否定されてしまうのは、個々人というよりは、そうした言説が流通する社会に、なにか歪み^{ゆがみ}があるように思われてならない。裏庭の土の上を、ムカデがするすると通っていく。やはり一瞬、どきりとするのだが、そのなめらかな移動を眺めてみると、家のなかに「出た」ときの不気味な印象とは違って、色合いも質感も動き方も、周囲に馴染^{なじ}んで、活き活きとしている。こちらが本来の姿なのだな、と思う。そうした姿を見慣れてくると、特に仲良くなりたい相手ではないにしても、だからといって、死んでしまえばいい、とは思えない。

(笠間直穂子『山影の町から』より)

注

*1 越谷：埼玉県越谷市。千葉県、東京都と比較的近い。

*2 秩父：埼玉県秩父市。山梨県・東京都奥多摩地域に隣接し、森林が多い。

(1) 傍線部X「養蚕」の読み方として適切なものを選びなさい。

- ① ようてん
- ② ようちゅう
- ③ ようほう
- ④ ようさん

(2) 次の①～④のカタカナを漢字で書き表したとき、傍線部Y「ゲンキン」のゲンと同じ漢字が用いられているものを選びなさい。

- ① 祖父はキンゲン実直を絵に描いたような人だった。
- ② 出生率のテイゲンをくい止めるための政策。
- ③ 一部のケンゲンを副委員長へ委譲した。
- ④ 怪盗は変装してヘンゲン自在に出没した。

(3) 空欄 [Z] に入る語句として最も適切なものを選びなさい。

- ① 氣勢をあげた
- ② 雪崩をうった
- ③ 拍車をかけた
- ④ 肝をつぶした

(4) 空欄 [A] に入る語句として最も適切なものを選びなさい。

- ① 虫が得意
- ② 虫が専門
- ③ 虫が苦手
- ④ 虫が友達

(5) 空欄 [a] [b] [c] [d] に入る語の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | a | 生理的 | b | 文化的 | c | 文化的 | d | 生理的 |
| ② | a | 生理的 | b | 文化的 | c | 文化的 | d | 生理的 |
| ③ | a | 文化的 | b | 文化的 | c | 文化的 | d | 生理的 |
| ④ | a | 生理的 | b | 文化的 | c | 生理的 | d | 文化的 |

- (6) 傍線部B「人間の『本能』は、自分を取り巻く社会との関係において、調えられていく」とはどういうことか。説明として最も適切なものを選びなさい。
- ① 吐き気を催したり鳥肌が立ったりする生理的現象は、あらゆる人間に共通する普遍的なものである。
- ② 人間の本能とされているものは、その人の生きる社会的環境によって規定された部分がある。
- ③ 身体のレベルで反射的に生じることは個人的な差異があり、それはあらゆる人間に共通するものではない。
- ④ 涙を流したり鳥肌が立ったりする身体反応は、異文化に生活しているとかなり変化する可能性がある。
- (7) 傍線部C「本人にとっては実際そのように認識されているため」の「そのように」とはどのようにか。説明として最も適切なものを選びなさい。
- ① 都市と自然の差異を文化的な問題のように
- ② アレルギー反応のような器質的障害を宿命であるかのように
- ③ 生理的ではなくの問題を個人の好悪の結果のように
- ④ 社会的・文化的な習慣を体質の問題のように
- (8) 本文の内容に合致しないものを一つ選びなさい。
- ① 女性の声の高さは生理的に決定されているものではなく、女性が社会の中でどう見られているかと関係する。
- ② 過剰なまでの「虫」への否定的言説が当たり前となっている社会は健全なものとは言えない。
- ③ 昆虫への生理的嫌悪感は根深いものがあり、近代以前の歴史でも記録にしばしば見受けられる。
- ④ 「虫嫌い」が一般化した背景には社会の側の「衛生」観念と住環境の都市化が大きく関係している。

3、次の各文の傍線部の読み方として適切なものを選びなさい。

- (1) 些細なことで悩むのはやめにした。
① きさい ② いさい ③ しさい ④ ささい
- (2) その心配は杞憂に過ぎないと思う。
① きゆう ② うゆう ③ こゆう ④ とゆう
- (3) 今までの約束を反故にされた。
① はんご ② ほんご ③ たんご ④ ふご
- (4) 公務員には遵守すべき義務がある。
① くんしゅ ② こしゅ ③ そんしゅ ④ じゅんしゅ
- (5) 常識を弁えた行動を取ってほしい。
① しつら ② わきま ③ かんが ④ こしら
- (6) 窓口で画一的な対応にならないよう気をつける。
① がいつ ② かくいち ③ かくいつ ④ がいち

4、次の各文のカタカナの部分に漢字に直したとき、傍線部に該当する漢字を選びなさい。

- (1) 駅前には高層ビルがリンリツしている。
① 隣 ② 凜 ③ 輪 ④ 林
- (2) ごドウケイの至りに存じます。
① 慶 ② 計 ③ 敬 ④ 啓
- (3) この国の未来は若者のソウケンにかかっている。
① 研 ② 肩 ③ 健 ④ 賢
- (4) 我ながら今回はカイシンのできばえだ。
① 改 ② 回 ③ 快 ④ 会
- (5) ショシを貫徹する強さを持ちたい。
① 資 ② 志 ③ 氏 ④ 誌
- (6) 研究費はジュンタクに用意されている。
① 卓 ② 託 ③ 沢 ④ 拓

1. 次の英文を読んで、以下の問いの答えとして最も適切なものを選びなさい。

著作権の関係上お見せすることができません

(<https://www.asahi.com/ajw/articles/15657367>)

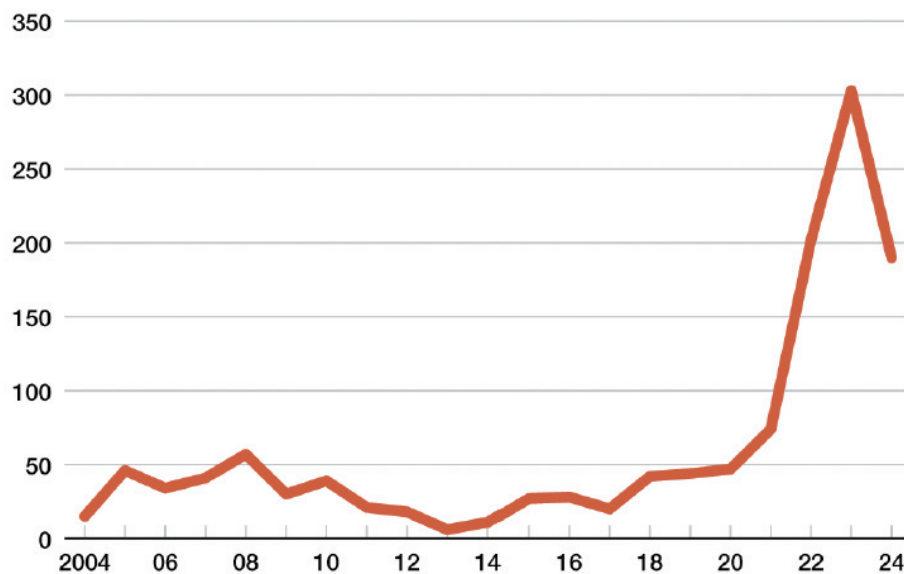
著作権の関係上お見せすることができません

- (1) What was one of the purposes of Swastika Harsh Jajoo's recent visit to the Hamadori coastal region with Indian students?
- ① To help them find job opportunities in Japan
 - ② To introduce them to local recovery efforts and culture
 - ③ To help them recover from damage caused by the earthquake
 - ④ To relocate survivors in other places
- (2) What impact did the 2011 Fukushima nuclear accident have on the residents, according to the passage?
- ① It caused immediate power shortages throughout Japan.
 - ② It forced many people to permanently leave the region.
 - ③ It deprived them of important things in an instant.
 - ④ It led to a lack of personal connections in Hamadori.
- (3) What motivated Jajoo to join the tourism corporation in Futaba?
- ① She wanted to explore more after her visit to Hamadori.
 - ② She hoped to work in disaster management.
 - ③ She wanted to learn about Japanese winemaking.
 - ④ She was assigned to fieldwork by her university.
- (4) How has Jajoo contributed to promoting tourism in Fukushima over the years?
- ① She opened a new travel agency in Sendai.
 - ② She developed 50 tour plans and hosted for over 100 participants.
 - ③ She created a documentary on Fukushima's recovery.
 - ④ She published a guidebook in multiple languages.

- (5) What is one unique feature of the tours Jajoo organizes?
- ① Military history lectures by local scholars
 - ② Attendance to online foreign conferences
 - ③ Acting experiences in local theaters
 - ④ Vegetarian meals and poetry writing sessions
- (6) What challenge does Jajoo face when leading tours in Fukushima?
- ① Local restaurants don't welcome foreign guests.
 - ② Language-related difficulties prevent communication.
 - ③ Participants sometimes hold negative biases about the region.
 - ④ Local residents oppose the presence of foreign tourists.

2. 次のグラフを見て、以下の問いの答えを選びなさい。

Refugees Accepted by Japan



Created by Nippon.com based on data from the Immigration Services Agency of Japan.

nippon.com

(<https://www.nippon.com/en/japan-data/h02353/japan-accepts-190-refugees-in-2024.html>)

- (1) According to the graph, in which year did Japan accept the highest number of refugees?
- ① 2020
 - ② 2022
 - ③ 2023
 - ④ 2024

- (2) How many refugees increased between 2020 and 2023?
① about 100 ② about 200 ③ about 250 ④ about 300
- (3) In which period was the number of refugees accepted by Japan the lowest?
① 2004–2006 ② 2012–2014 ③ 2018–2020 ④ 2022–2024
- (4) Which of the following statements about the graph is the most accurate?
① Refugee acceptance in Japan saw some reduction after 2023.
② The number of refugees accepted by Japan remained consistently high from 2004 to 2020.
③ Japan has consistently increased its intake of refugees every year since 2004.
④ Japan accepted over 350 refugees in 2023.

3. 次の文の空所(1)、(2)を含む6個の空所にはA群の6個の語が入り、空所(3)、(4)を含む6個の空所にはB群の6個の語が入る。この時、空所(1)~(4)に入る語を選びなさい。

Martin Luther King Jr. _____ of a future defined (1) by skin color but _____ character, and (2) dream _____ to guide _____.

A群

- ① his ② continues ③ not
④ by ⑤ generations ⑥ dreamed

The discovery of climate _____ as a global issue _____ environmental policies, scientific research, and (3) cooperation. Its _____ continues to grow (4) the world seeks _____ solutions.

B群

- ① change ② importance ③ as
④ reshaped ⑤ international ⑥ sustainable

4. 次の問い(1)、(2)については、各単語と最も意味の近い単語をそれぞれ選びなさい。また、問い(3)、(4)については、各単語と反対の意味を持つ単語をそれぞれ選びなさい。

(1) accurate

- ① relative ② thorough ③ social ④ precise

(2) clarify

- ① invest ② advertise ③ explain ④ spread

(3) ancient

- ① modern ② national ③ potential ④ physical

(4) expand

- ① resemble ② shrink ③ protest ④ improve

5. 次の _____ に当てはまる語（句）として、最も適当なものを選びなさい。

(1) A: I stayed up until midnight working on that science project.

B: Really? I started _____ a week ago, but I still had to rush at the end. We always say we'll do it early, but it never happens, does it?

- ① me ② mine ③ them ④ theirs

(2) A: My younger cousin spends nearly all his time on his phone.

B: Yeah, it's like kids these days are growing up with screens as babysitters. I worry it might _____ their attention span.

- ① accuse ② appoint ③ amend ④ affect

(3) A: I started _____ online lessons to learn Spanish.

B: That's awesome! I've always wanted to learn a second language. Is it hard?

- ① taken ② have taken ③ taking ④ being taken

(4) A: You've changed a lot since moving abroad.

B: Living in a different culture really _____ our perspective, doesn't it?

- ① broadens ② is broadened ③ broadened ④ is broadening

(5) A: I just got back from Kyoto. The temples and gardens were amazing.
B: That sounds great. I've always wanted to go there in autumn when the leaves change. Was it _____?

- ① crowded ② crowds ③ crowding ④ crowdedness

(6) A: That movie we watched last night really stayed with me.
B: Same here. The story was simple, but the emotions felt so real. I wasn't expecting it _____ that powerful.

- ① were ② will be ③ to be ④ had

6. 次の文の下線を引いた空所(1)~(4)に当てはまる語として、最も適切なものを選びなさい。

著作権の関係上お見せすることができません

(<https://www.asahi.com/ajw/articles/15642848>)

- (1) ① problem ② attraction ③ gift ④ program
- (2) ① merits ② benefits ③ episodes ④ barriers
- (3) ① allow ② explore ③ prohibit ④ permit
- (4) ① to ② and ③ nor ④ or